

詐欺電話にご注意を！

このところ、今治市内で特殊詐欺の予兆電話が多発していますので、十分注意してください。

【予兆電話の概要等】

・令和6年11月25日午前9時45分頃、今治市在住の70歳代女性方の固定電話に、NTTカスタマーセンターの職員をかたる男から「あなた名義の携帯電話が東京で購入されており問題となっています。停止する必要がありますので警視庁につながります。」などと電話がありました。

・令和6年11月21日午前9時10分頃、今治署管内において20歳代女性の携帯電話に、石川県警をかたる男から、「石川県警です。モリ〇〇という人を知っていますか。この人の家を家宅搜索したところ、出入金履歴にあなたの名前がありました。」等と電話がありました。

・令和6年11月20日午後2時30分頃、今治市に住む70歳代男性方の固定電話に、「総務省です。2時間後に電話が使えなくなります。オペレーターにつなぐ場合は1を押してください。」などという自動音声ガイダンスの電話でした。

【被害に遭わないためのポイント】

○突然、「携帯電話が使えなくなる。」などと電話があっても焦らず、一旦電話を切りましょう。

○固定電話は、在宅時でも常に留守番電話に設定しておくことで、詐欺電話や迷惑電話を防ぐことができます。

○警察官や検察官が調査や口座凍結回避の名目で現金の振込みや送付を要求することはありません。また、相手が誰であっても、電話でお金の話になれば、一旦電話を切り、家族や知人、警察に相談しましょう。

○電話で警察官や検察官、自治体職員を名乗っていても、お金の話になれば、詐欺を疑い、担当者の所属や名前を確認する、一旦切って相手が名乗った部署にかけ直して確認するなどの対応をしましょう。